

## 地域のコンテンツの連携促進(ロングストーリー造成)事業

インバウンド需要が回復に向かう中で、その需要を確実に収益につなげるためには、インバウンド客により長く日本に滞在してもらい、より多くの消費をしてもらうことが必要です。

そのためには、地域にあるコンテンツをバラバラに体験してもらうのではなく、旅行者目線で旅全体を通じて、一貫したストーリーの下で有機的につながったコンテンツを体験してもらうことが効果的であり、本事業では、このようなストーリーの造成等を行う者に対して、支援を行う予定です。

# 地域のコンテンツの連携促進(ロングストーリー造成)事業

- インバウンド旅行需要が回復に向かう中で消費額増加をより一層促進するため、R4年度補正予算を活用し、1週間以上の旅全体を通じたストーリーの造成等により地域を繋げ、長期滞在を実現するための実証にかかる取組を支援している。
- 長期旅行者を一層惹きつけるためには、造成したツアーに対する販路拡大・磨き上げ等の継続的な支援や、これまでの成果を取り入れたよりストーリー性が感じられるツアーの新規造成・販売への支援が必要である。また、ツアーに同行し、地域の多様な関係者と様々に連携しながらツアー全体をコーディネートする“Experience Manager”の育成支援も不可欠である。

## 事業内容

### ①既存ツアー※の販路拡大・磨き上げ

- ・海外旅行会社を招聘したファムツアー開催
- ・コンテンツの磨き上げ 等

※R4年度補正予算を活用して造成したツアー

### ②新たなツアーの造成・販売

- ・コンテンツの企画開発、地域事業者等へのセミナー開催
- ・OTA掲載、旅行会社との商談
- ・情報発信のための素材やツールの作成 等

### ③Experience Managerの育成

- ・ガイド研修（R4年度補正予算を活用）を受講した特に優秀な方等を対象に海外派遣プログラムを提供
- ・ツアー造成のためExperience Managerの育成に取り組む地域を対象に上記の横展開やプロによる研修を実施 等

## 事業スキーム

- ・事業形態：直轄事業 請負先：民間事業者
- ・事業期間：令和6年度～

## 事業イメージ

### ストーリー：

サムライの繁栄と衰退の物語から、武士や日本の精神文化に触れ、自身に繋がる学びを得る

武道、武家文化に息づく武士道精神を体感し、日本人が大事にする考え方について学ぶ



新しい時代を生き抜くためにラストサムライが残したもから、現代に繋がる学びを得る



弓道体験



居合道  
(抜刀体験)



武士が嗜んだ茶道体験



相撲稽古見学



サムライ



令和5年度 観光庁

ロングストーリーによる  
地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査

本事業では、インバウンド旅行需要が回復に向かう中で、  
長期滞在及び消費額増加をより一層促進するため、  
旅全体を通じた一貫したストーリーの造成等により、  
地域の周遊を実現する取組を支援します。

募集期間

令和5年5月17日(水) ~ 令和5年7月7日(金)13:00 (厳守)

ロングストーリーによる地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査

実証事業の採択結果

ツアー名	プロジェクトチーム名
Regenerative Miyagi ～生産と消費を繋ぐ森里海の連環を体感する旅～	みやぎ森里海連環ツーリズム推進協議会
「心」と向き合う1400キロ 日本思想の源流となる「弘法大師の真髓」を感じる旅	四国遍路サイクルAT開発プロジェクト
サムライストーリー。武士道、武家文化、そして、ラストサムライの葛藤と功績。	地球の歩き方サムライプロジェクト
和食のルーツに迫る旅 ～鯖街道を舞台に～	鯖街道ロングストーリー造成チーム
Live together with Japanese Alpine Culture -Associate with craftsmanship, architecture, and water-	松本・高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会
祈りを体験する「熊野古道伊勢路」巡礼の旅	熊野古道伊勢路プロジェクト
in InterConnected Arts/JAPAN 「茶の湯のものづくり」を巡り、持続可能な「つくる」を体得する旅	in InterConnected Arts/JAPAN
日本刀(Japanese sword)～玉鋼(たまはがね)・現代日輪刀～に出会う旅	玉鋼・現代日輪刀プロジェクト
「黒潮」が魅せる亜熱帯の暮らしと亜寒帯の暮らし	Discover the KUROSHIO Consortium
Indigenous Spirits of Southern Islands -知られざる日本 南の源流を巡る-	琉球・奄美 ネイティブツーリズム・コンソーシアム

大体のスケジュール (四国遍路PJの場合)

8月末 最終提案書提出

9月、10月  
各1日ずつ、スルーガイド研修 (ウェブ)

11月  
スルーガイド研修 (沖縄5日間)

12月  
FAMツアー、実踏研修

1月  
商談会

1月末までの内容・予算が対象

2月7日 成果物提出

3月中旬 認められた経費が入金

---

**国土交通省観光庁  
地域のコンテンツの連携促進  
(ロングストーリー造成)事業**

**” O-henro”, Pilgrimage Cycling in Shikoku & Mt. Koya,  
~Prayer journeys in search of 'enlightenment' ~**

**四国遍路巡礼と高野山お礼参り  
サイクリングツアー造成事業**

**四国遍路サイクルアドベンチャートラベル(AT)プロジェクト  
キックオフミーティング**

# 四国遍路巡礼と高野山お礼参りサイクリングツアー造成事業

## 事業関係者（プロジェクトチーム構成員および関係者）と体制

### 【プロジェクトチーム内】

担当役割	団体・企業名	担当者
全体統括/商品開発/販売	株式会社 プラネットアドベンチャー	西田 恵理子
地域行政との連携・調整	一般社団法人 四国ツーリズム創造機構	坂本 憲昭
地域観光コンテンツの連携・調整	一般社団法人 四国ツーリズム創造機構	中村 一貴
地域事業者との連携・紹介	四国アライアンス 観光振興分科会事務局： 四国銀行	吉田 正史
受入れ先事業者の発掘・調整	四国アライアンス 観光振興分科会事務局： 四国銀行)	小栗 充裕
商品開発/現地オペレーション/販売	KochiAmigo株式会社	長川 雅夫

### 【プロジェクトチーム外】

担当役割	団体・企業名
EuroVeloに基づく 企画設計講座	エミネントパートナーズ株式会社
サイクリングガイド講習	一般社団法人 日本サイクルツーリズム推進協会
体験コンテンツの磨き上げ/ 欧州商談会企画設計/ ファムツアーサポート	株式会社おいでなせえ 梅原 学氏

# 取組と内容、予算の概算

取組み	内容	予算(約)
ルート設計	四国八十八箇所・和歌山高野山を巡るサイクリングルートの開発 = 全ルートを実際に走り、その安全性・補給・休憩・景観を調査	30%
EuroVeloに基づく 企画設計講座	<ul style="list-style-type: none"><li>• EuroVelo (現JapanVelo)ルート評価の手法のセミナー</li><li>• セミナー参加者を対象に、Euro Veloルートインスペクターが、高知県内のルート520キロを実踏調査</li></ul>	12%
現地サイクリングガイドの育成	<ul style="list-style-type: none"><li>• 和歌山、徳島、愛媛の三箇所で養成講座</li></ul>	5%
体験コンテンツの磨き上げ	ツアー内容に即したコンテンツ開発 (立ち寄り先)	22%
ファムツアー (実踏含む)	5カ国から招聘し、5泊6日の体験版ツアーを開催	14%
欧州商談会	スペイン視察後、アイルランドダブリンにて商談会にブース出展	12%
事務経費		5%

# 四国遍路巡礼と高野山お礼参りサイクリングツアー造成事業

ツアー名	“O-henro”, Pilgrimage Cycling in Shikoku & Mt. Koya, ~Prayer journeys in search of 'enlightenment'~
テーマ	弘法大師の足跡を辿る1400km、88の寺院の四国遍路
ツアー コンセプト	弘法大師の巡礼を追体験し、煩惱を捨て「悟り」を探求する祈りの旅
ツアーを 通じて 伝えたい ストーリー	<p style="text-align: center;">約1400km、88の寺院を巡り、 煩惱を捨て「悟り」を探求した弘法大師の足跡や教えに想いをよせる祈りの旅</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 弘法大師の旅を追体験することは、物にあふれた現代において、人生で本当に大切なことはを何か再考する機会となると考えます。</li><li>② 行程を通じて、他者への敬意、感謝の気持ち、諸行無常といった仏教思想がベースとなっている日本社会を理解するきっかけをとしていただき、新たな視線から物事を考えるヒントを得ていただければと思います。</li></ul>
ターゲット顧客	<p><b>【ターゲット顧客】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 巡礼旅を楽しむインバウンド客</li><li>② 自己啓発、自己実現、巡礼地の完走</li><li>③ 日本人の精神性、文化、歴史に関心を持たれる方</li></ul> <p><b>【ターゲット設定理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>① スペイン、カミーノの巡礼者数は2019年に37万人に達し、世界的に大きな需要のうち、自転車巡礼はその6%（約22,000人）を占め四国自転車巡礼に大きな可能性</li><li>② 表面的な日本文化だけでなく、侍や禅などに垣間見れる日本人の倫理観に対する関心も高まっている</li></ul>

# 四国遍路巡礼と高野山お礼参りサイクリングツアー造成事業

<b>実施エリア</b>	四国八十八ヶ所霊場所在地、及び高野山奥の院、総本山金剛峯寺エリア
<b>プロセスとアプローチ</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>① 四国お遍路88か所と高野山へのお礼巡り・体験・交流を通じて、日本人の思想の源流となる「弘法大師の真髓」に迫る</li><li>② 移動は基本E-BIKE。トレッキング、世界唯一のDMV（デュアル・モード・ビークル）や、小島へ渡る船などで巡るなど様々なアドベンチャー要素を盛り込む</li><li>③ 各寺院での教え、お接待文化の残る地域コミュニティとの交友、四国の美しい自然、仏教思想の伝統体験など、日本人の宗教観と倫理観を形成した仏教哲学を体感できる異文化交流要素を盛り込む</li></ol>
<b>配慮点</b>	<p><b>【体験価値向上に向けた工夫】</b> 現地の人しか知り得ない情報や体験、そして地元との交流の演出・提供ができるよう、実施エリア在住の着地型のサイクリングガイドを養成。 コンテンツの磨き上げだけでなく、参加者のニーズ（滞在日数、ツアー価格、参加者の体力等）に合わせたコンテンツの製作を行う。</p> <p><b>【顧客の多様性に合わせた工夫】</b> 参加者の多様な宗教的背景を考慮し、参拝方法に配慮する。 アレルギーなどへの対応、宿泊施設についても休息の取れるリゾートホテルも途中で取り入れた設計とする。</p> <p><b>【旅行者マナー向上に向けた工夫】</b> スルーガイドに加え、常時サイクリングガイド、もしくはスポットガイドが同行し、旅行者マナーの徹底を図る。</p> <p><b>【怪我や病気が生じた場合の対応】</b> ガイドに対して、上級救命講習の受講を義務付ける。ルート上の救急病院・AEDの所在を明確にする。 また、ツアー実施の際に訪れる地域と連携（自治会、観光協会等）を図れる体制とする。</p>

# 実施エリア：四国八十八ヶ所霊場所在地、及び高野山奥の院、総本山金剛峯寺エリア

## 17-24日目：菩薩の道場

煩惱を捨て去り悟りに近づく菩薩の道場。景色は雄大な太平洋から穏やかな瀬戸内海と移り変わる。

このパートからスルーガイドは多くを語るのを辞め、思考を刺激するような質問やヒントを与えることに努める。また陶芸や丸亀ウチワなど伝統工芸制作を入れ、自分の手で物を作り、自分と向き合う時間を増やす。

## 25-30日目：涅槃の道場

88の煩惱を取り除き悟りに達する涅槃の道場。周囲に敬意を払い、感謝しつつ最後の週を過ごす。弘法大師の生家などを周り、より彼の生き方や思考の旅にフォーカスを当てる。また遍路サロンでは他のお遍路さんとの交流を楽しみ、大きな四国ジオラマからこれまでの歩みを振り返る。

## 31-33日目：エピソード 高野山屋のお礼巡り

88番寺まで巡った後に一番寺へ戻り遍路旅を完結。初日の集合後すぐに寄った同じ店でランチをし感慨にふける。

翌日、徳島港から和歌山港までフェリーで移動し、一泊を挟んで高野山までEbikeで移動。宿坊に宿泊し、感謝を表すセレモニーに参加する。翌日解散。

## 8-16日目：修行の道場

宿坊での瞑想など自分と向き合う時間が増える2ndパート。スタートとなる弘法大師が悟りを感じ空海と戒名した室戸の御蔵洞から、弘法大師の心の旅を追体験する。

例えば安芸の書道美術館では、芸術まで発展した書道はという自分と向き合うことを目的とした修行が写経ら発達したことをガイドし実際に体験していただく。

## 1-7日目：発心の道場

旅への安心感やチーム造成を計りながら、お寺参りの作法や弘法大師、仏教と日本人の倫理観のベースを理解し関心を起こす。

例えばごみゼロを目指す上勝町の取組みから、Natureを人間の対置と捉える西洋文化とは異なり日本人は我々も自然の一部であると考え敬意を表すが、それが仏教の教えに由来することに気付いていただく。



# 販売体制・パンフレットの制作方針など

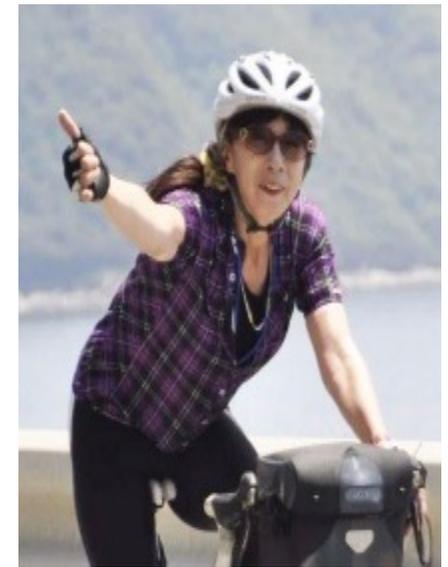
<p><b>想定する販売体制</b></p>	<p>株式会社プラネットアドベンチャーHP 高知アミーゴ株式会社ホームページHP 海外ツアー販売専門会社HP、 ターゲットに合わせたOTAへの掲載</p>
<p><b>パンフレット・商品情報整備の方針</b></p>	<p>上記に加え</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① (一般社団法人) 四国ツーリズム創造機構様HP</li> <li>② ATTA所属各社：             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルパンフレット制作 (英/西)</li> <li>・旅行博出展でのチラシ配布</li> </ul> </li> <li>③ 観光庁推薦の観光コンテンツタリフやOTAへの掲載</li> </ol>
<p><b>ツアー提供時期</b></p>	<p>3月～12月初旬 12月中旬～2月は降雪・凍結等の可能性があり、安全にツアー催行が実施できる保証がないため</p>
<p><b>コンテンツの体験可能性</b></p>	<p>雨天： 降雨時でもツアー趣旨に沿った室内でも体験可能な複数のアクティビティを用意し、参加者には飽きさせない工夫する 休日： オプションツアーを準備し、その地域らしさを体感できる機会の創出する</p>

## スルーガイド担当者



**マシュー ベネット**  
Kochi Amigo  
株式会社

お遍路をテーマに米国の大学にて卒業論文を執筆、自身も4度遍路を周り、四国、遍路好きが高じて2016年日本へ移住。現在は欧米人を対象にお遍路の魅力を発信しながらガイドしている。



**西田 恵理子**  
株式会社  
プラネットアドベンチャー

サイクリング専門旅行会社を立ち上げ、国内外でツアーを催行。自らもサイクリングガイドとして活動。また、別法人にてサイクリングガイドの育成を行う。スペイン巡礼旅を通じて四国巡礼の可能性を強く感じている。

# チーム連携と地域との合意形成 来年以降の事業の展望

<b>チーム内の 連携工夫</b>	<p><b>役割の明確化</b>：4事業者・団体で役割と責任の明確化を図りプロジェクトの進行する。</p> <p><b>会議体の設置</b>：当プロジェクト推進のための会議体を設置し、月2回程度の会議を開催し、進捗状況、課題の共有、課題解決に向け、しっかりとしたコミュニケーションを図り、地域一丸となった事業ビジョン・目標の策定を図っていく。</p>
<b>地域との 合意形成</b>	<p>当事業を起点に地域の観光に関与するステークホルダー（地元住民、事業者、地方自治体など）を巻き込み、意見を集約し、地域に応えることのできる仕組みを創出する。ワークショップ、現地と協業できるガイドの育成（スポットガイド・サイクリングガイド）アンケート実施などを通じて、共通の認識を進め、ビジョン・目標の策定を図り</p> <p><b>⇒当事業のブランド化を目指します。</b></p>
<b>次年度 以降の 展望</b>	<p><b>①参加者のニーズに合わせた多様な商品造成を実施</b></p> <p><b>（1）ツアー企画の細分化</b></p> <p>33日間の長期間のツアーに加え、参加者の脚力レベルや滞在日数に合わせた企画の拡充を図る。</p> <p>参加者のニーズに合わせた日程、価格面での対応を行い、ツアー展開を行う</p> <p><b>⇒参加しやすく、リピートに期待</b></p> <p><b>（2）セルフガイドツアーの導入</b></p> <p>欧米豪で主流となっている「セルフガイドツアー」の仕組みの導入を検討する。メリットとして</p> <p>①参加者自身の旅行スタイルに合わせた楽しみ方ができること、②参加費用が抑えられること</p> <p>③ツアー運営上の手間が抑えられる。</p>

# 地域への期待効果とEuro Velo評価基準の導入

## 地域への期待効果

「弘法大師の追体験」のストーリーに沿った「体験」「地域コミュニティとの交流」を軸とする  
⇒①地域資源の活用を通じた経済効果 ②地域の活性化 ③交流を通じた生きがい創出など  
④「四国遍路コンテンツの更なる磨き上げ」に繋がる事業効果・期待 > **より魅力的な四国へ**  
⇒**四国が「アドベンチャートラベルのデスティネーション」として世界的に認知される**  
**専門性が高く魅力あるスポットガイドの育成と地元をよく知るサイクリングガイドの育成が肝**

## 地域連携による効果

①それぞれの自治体が個別に取り組んできたアドベンチャーツーリズム、サイクルツーリズム、グリーンツーリズムなどの推進の取り組みを共有し、互いにブラッシュアップを図ることで、相乗効果と新たな価値の創出  
②地域の観光に関するステークホルダー（地元住民、事業者、地方自治体など）を巻き込み、意見を集約できる仕組みを創出することで、互いに良いところを取り入れ、より魅力的な観光施策を実現

## 全世界のサイクリストが安心して走れる四国巡礼路の開発

### Euro Veloルート評価基準の導入

Euro Veloはヨーロッパ中の国々や都市を結ぶサイクリングルートで、2023年現在、90,000キロにも及んでいる。

ルート設計のみならず、国や都市によって異なる道路や看板類を同一の仕組み・基準で評価・統一することで、サイクリストが安心して走行できるルートとなっており、多くの欧州内外から多くのサイクリストを誘致している。

**四国巡礼路（サイクリングルート）を、Euro Veloと同等の基準で評価することで、四国巡礼全ルートを全世界のサイクリストが安心して走行できる世界水準のサイクリングルートとすることを目指す**

ユーロヴェロ (EuroVelo) はヨーロッパ自転車連盟 (ECF) の推奨する全欧自転車道路網。ヨーロッパ全土を16の長距離ルートで結ぶプロジェクトで、現在欧州全土で90,000キロに及ぶ

ルート評価と認証については

欧州認証規格

(ECS: European Certification Standard) が用いられている

この手法は、ECF が開発したもので、EuroVelo(ユーロヴェロ)であるかを問わず、サイクルルート进行评估し、その品質を評価することが可能

長距離自転車旅行者だけでなく、日常的にサイクリングを楽しむ地元の人々にも利用されている。



# ルートの要素別認証基準

## ルートの要素別認証基準

### インフラに関する認証基準

連続性  
ルート・コンポーネント  
路面と幅勾配  
アトラクション(観光名所)  
標識・案内板  
公共交通機関

### サービスに関する認証基準

宿泊施設  
飲食および休憩エリア  
自転車サービス  
予約可能なツアー

### マーケティングとプロモーションに関する認証基準

ウェブコミュニケーション(オンライン)  
プリントコミュニケーション(印刷物)  
沿道の情報

### インフラに関する基準 (Daily Section : 1日区間全体に関する)

インフラ：連続性

Essential (必須)	物理的障害がない。川や線路等は橋・地下車を義務づけられる場所が1日区間の10%以下。
Important (重要)	階段がある場合、スロープがある。
Additional (追加)	配慮が必要な人が走行できない階段・段

インフラ：ルート要素 (交通量の分類は下表参照)

Essential (必須)	交通量が非常に多い区間(very high)がない。 交通量の多い区間(high)は50%以下。
Important (重要)	交通量の多い区間(high)がない。 交通量が中程度の区間(moderate)は50%以下。 非常に危険な交差点がない。
Additional (追加)	交通量が中程度の区間(moderate)がない。 交通量が少ない区間(low)は50%以下。 危険な交差点がない。

Euro Velo										
Minor section 短区間：		から			まで					
Continuity 連続性										
Status 状況	Cycling allowed 走行可能		Dismount 下車		Entry forbidden 進入禁止		Publid Transportation link 公共交通へのリンク		Detour 迂回	
Route Compornents										
Type タイプ	Cycle Path 自転車道		Cycle and Pedestrian pass 自転車歩行者道		Geenway 歩行者自転車専用道路		Painted cycle lane 自転車専用レーン		Agric. /forest/water management road 農業・林業・水管理用道路	
	Cycle street/homezone サイクルストリート・住居地区		Public road 公道		Unknown 不明					
Direction 方向	Oone-way 一方向		Two-way 両方向							
Width 道幅(m)	less than 1		1.0~1.4		1.5-1.9		2.0~2.9		3.0~4.9	
	5 or more									
Trafic Volume 交通量	Units ユニット		minutes 分		units/day		Trafic free			
Trafic speed 時速	30 or lower		40		50		60		70	
	80		unknown							
Surface 路面										
Surfice type 路面タイプ	Asphalt/concrete アスファルト・コンクリ		Blocks/slabs/cobbles ブロック・スラブ・石		Stabilised gravel 安定した砂利		Gravel/dirt 砂利・ダート			
Surface quality 路面の質	Perfectly ridable 完璧に走行可能		Well ridable 十分走行可能		Moderately ridable まあまあ走行可能		Badly ridable 悪路だが走行可能		Not ridable 走行できない	
Attractivity 魅力										
Area/landscape 地域・景観	monotonous/unattractive 単調・つまらない		Attractive 魅力的		Highly attractive 非常に魅力的		Noise/dust/smell 騒音・埃・悪臭		Crime/wild dogs 犯罪・野生の犬	

---

魅力ある景観、体験、まなび、そして、気づき  
過去を受け入れ、自らを認め、新しい自分と出会う旅への誘い  
～ Encounter to new-self ～

世界中のサイクリストに

そんな特別な驚きとワクワク体験を創造し提供する

**The Experience Manager**

として、このプロジェクトを、共に進めていければと思います

どうぞよろしくお願いいたします！